

イノベーション創出に向けての 異分野間コミュニケーション

必要とされる社会的背景と、スキルアップ方法について

地球環境、資源エネルギー問題等、従来のタテワリ学問体系では対処しきれない課題が 20 世紀末以来増加してきている。これに伴い、それぞれの課題に取り組むべき学問分野も理工学から人文・社会科学諸分野へと広がりを見せる中で、これら異分野間の有機的連携が必須となり、そこには「異分野間コミュニケーションスキル」が必要となる。そうした社会的背景を把握するために科学技術政策、科学技術モード論について説明する。

また、本スキルアップ方法を目的に今年 2 - 1 期に実施する「学際コミュニケーション論」について紹介する。

日時 : 2007 年 8 月 8 日(水) 14:00 ~ 15:00

会場 : 知識科学研究科棟 7 階 セミナールーム

講演者 **小林 俊哉** 准教授



J A I S T 科学技術開発戦略センター

COE プロジェクト「学際コミュニケーション・サイエンスカフェ」代表

COE プロジェクト「学際コミュニケーション・サイエンスカフェ」の活動

学問分野間、異なる組織間の壁を越えるためのコミュニケーションスキルの育成方法を検討していくために、統合科学技術コースにおいて『学際コミュニケーション論』を企画・運営している。

また、専門家を交えて話し合う新しいタイプのシンポジウム『サイエンスカフェ石川』を開催。

そこでは専門家の知見や大学の研究により得られた成果を発表し、

地域活動の声を研究にフィードバックすることで相互交流・相互理解を目指している。

学際コミュニケーション論



昨年度実施風景

本 COE プロジェクトが生み出す
異分野間コミュニケーションの場

サイエンスカフェ石川



昨年・今年オープンキャンパスにて実施